

製品名: SMARCC1/BAF155 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe84189**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC,FC,IP
反応性	人間、ネズミ
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:2000,ICC 1:50-1:200,FC 1:20-1:100,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 123 kDa ; Observed MW: 155 kDa

抗原情報

遺伝子名	SMARCC1/BAF155
別名	BAF155; CRACC1; Rsc8; SMARCC1; SRG3; SWI3;;SMARCC1
遺伝子 ID	
SwissProt ID	Q92922
免疫原	ヒト SMARCC1 由来の合成ペプチド

背景

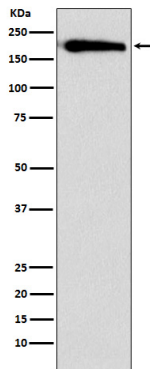
クロマチンリモデリング (DNA-ヌクレオソームトポロジーの変化) による特定の遺伝子の転写活性化および抑制に関与する。SWI/

SNF クロマチンリモデリング複合体の構成要素であり、主要な酵素活性を発揮し、ATP 依存的にヌクレオソーム内の DNA-ヒストン結合を変化させることでクロマチン構造を変化させる。複合体の触媒サブユニットの ATPase 活性を刺激する可能性がある。

研究分野

-

画像データ



HeLa 細胞溶解物中の SMARCC1 発現のウェスタン ブロット分析。